



株式会社ムロコーポレーション

荒井邦博

特販部部长



会社概要
栃木県宇都宮市清原工業団地7番地1。
自動車部品製造を主とする。従業員数
1122名（2021年3月期連結）

「餃子の街」として名高い栃木県宇都宮市に、国内最大規模の内陸型工業団地が存在することを存じだろうか。実は栃木県は伝統的に工業製品の製造が盛んな土地であり、中には液晶テレビの受信機やカメラ用レンズなど、出荷額で全国トップシェアを誇る品目すらある。かつて「宇都宮テクノポリ

ス」とも位置付けられ、その動脈であり続けているのが清原工業団地だ。キャノンやカルビー、中外製薬工業などが長きにわたり拠点を置く一方、強靱なものづくりの磁場を育んできたのは大企業に限らない。高い技術や生産体制を軸に堅実経営・挑戦を続ける中堅・中小事業者も軸足を構えているのだ。

今回ご紹介する株式会社ムロコーポレーション（1953年創業）も、そんな県内中堅企業の1つ。自動車部品製造を主力事業とした東証スタンダード上場企業でありつつ、自社商品発出にも心血を注ぎ、コンシューマー分野にも知名度を高めている会社だ。二ツチ分野の自社商品開発・製造・販売等を一手に担う

「特販部」の荒井邦博部長に、沿革や自社の強み、刻々と変化する市場への対応などを伺った（以下、敬称略）。

生産体制に裏打ちされたコストメリットが強みに

御社の事業概要について教えてください。

荒井 弊社が主力事業としているのは「自動車向けプレス部品」の製造です。製造工場はここ清原工業団地を含め国内に3カ所、またアメリカ・ベトナム・インドネシア・中国にも拠点を設けています。自動車部品業界では完成車

長年の主力ビジネスにも慢心せず 積極的に新事業展開へ注力



の9割以上を占めています。

高い技術力を活用し 一般家庭向け商品も開発

「プレス技術という強みを脈々と築きながら、まさに堅実に事業を営まれてきたこととお見受けします。残り1割の売上にかかる特販部の設置、および自社商品開発・製造などを続けられている背景についてお聞かせください。

荒井 私の入社当初から、当時の社長には「自動車部品以外の事業の柱を育てたい」という思いが強くあり、1986年から自社商品の開発を行っています。私はその担当部署である特販部配属で入社し、現在まで自動車部品製造には関わることなく、二ツチ分野の事業拡大に携わってきております。

特販部の主力商品としては、まず「ビスライダー」という連続でネジを締めること

メーカーの要望に基づき、弊社のようなサプライヤーが日夜開発・製造の企業努力を重ねているわけですが、弊社の強みは社内での一貫生産にあると認識しています。具体的には、プレス用の金型設計・製作に始まり、プレス・切削・熱処理・研削・表面処理・検査までを自社で完結できる体制を構築しています。

主力部品はエンジンやトランスミッション、ディファレンシャル等の駆動系ですが、最近ではアクチュエーターに用いるギヤの製造が増えています。こうした部品類は一般に切削・焼結・铸造といった技術を用いて製造されるのですが、弊社ではそれらをプレス工程に置き換え、コストメリットを引き出すことができている。おかげさまで国内完成車メーカー全社に採用されており、自動車を含めた輸送用機器向け製造部品が売上